

たまねぎの選果施設利用の効果検証

要約

出荷調整にかかる労働時間は、共同選果機利用区で 10a 当たり延べ 3.9 時間と少ないのに対し、個別選果区では延べ 26.1 時間と多くの労力を要した。出荷調整作業の労力軽減には、共同選果機の利用が有効であることが分かった。

○ 展示のねらい

たまねぎ産地の維持・拡大を図るため、共同選果機を利用することによる選果・選別時の労力軽減効果について検証する。

○ 主な成果

- ・10a 当たりの出荷調整(乾燥後から出荷まで)にかかる労働時間は、共同選果機利用区で延べ 3.9 時間、個別選果区で延べ 26.1 時間であった(表 1)。
- ・10a 当たりの出荷経費の合計は、共同選果機利用区で 171,425 円、個別選果区で 98,267 円、売上高から出荷経費を差し引いた額は共同選果機利用区で 292,387 円、個別選果区で 276,002 円だった(表 2)。

表 1 10a 当たり作業別労働時間

(人、時間/人、時間)

	共同選果機利用区			個別選果区		
	人員	作業時間(時間/人)	延べ作業時間	人員	作業時間(時間/人)	延べ作業時間
【収穫から乾燥開始まで】						
収穫、拾い上げ、根切り葉切り	7	14.6	102.2	7	14.6	102.2
搬出、運搬	2	1.6	3.2	2	1.6	3.2
小計①		16.2	105.4		16.2	105.4
【乾燥後から出荷まで】						
鉄コン詰め	2	1.3	2.6			
選果、袋詰め				3	8.2	24.6
出荷	1	1.3	1.3	1	1.5	1.5
小計②		2.6	3.9		9.7	26.1
合計(①+②)		18.8	109.3		25.9	131.5

表 2 10a 当たり出荷量、出荷経費について

		共同選果機利用区	個別選果区
出荷量(kg)		5,902	5,600
単価(円)		79	67
売上高(A)(円)		463,812	374,269
出荷経費(円)	雇用労賃	0	8,095
	資材費	45,977	12,992
	運賃	26,784	32,638
	選果費	44,318	0
	手数料	54,346	44,542
小計(B)		171,425	98,267
(A)-(B)(円)		292,387	276,002

※単価：共同選果機利用区(単価 79 円)は早生中心の出荷、個別選果区(単価 67 円)は中生、晩生中心の出荷のため、販売単価に差があった。

○ 今後の方向性

共同選果機を利用することで発生する選果費や資材費などの経費について十分説明した上で、出荷形態が簡易になり出荷調整作業が短縮されるなどメリット面についても提示し、共同選果機の利用率を高めていきたい。

実施機関：河内農業振興事務所経営普及部 実施場所：上三川町

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315